

翟

翟は、隹(鳥)と羽との会意字で、“羽の美しい鳥”が本義の字です。きじ(雉)の名に用いられるのは、きじの尾が長くて、羽の模様が美しいからです。部首としては、“きらきらと美しく輝く”“羽をぱたぱたさせる”という意味が用いられています。音はタク、またはテキ。羽ばたきの音を表わしたものです。

濯は、水洗いして、衣類を美しくすることを表わした氺と翟の会意形声字です。音は<sup>タク</sup>翟です。洗濯。

擢は、きじの羽の中から、とりわけ美しい羽を選び抜き取るという意味の字で、手と翟との会意形声字です。音は<sup>テキ</sup>翟。“ぬきだす”抜擢。

躍は、羽をぱたぱたさせる意味の翟と、足との会意形声字です。鳥の飛び立つように、“足をおどらせる”ことです。“とびあがる”音は<sup>タク</sup>翟が変化してヤクになりました。跳躍。飛躍。勇躍。躍進。躍動。

趯は、躍と同じ意味の字です。“おどる”こと。音は<sup>テキ</sup>翟。

曜は、美しい意味の翟と日との会意形声字で“日の光がきらきらと美しく輝く”という意味の字です。“かがやく”日の光の意味に使われます。今では、日曜、月曜などというように使われますが、この曜は、“空に輝く天体”という意味で、太陽、月、火星、水星……土

星を指しています。音は<sup>ヤク</sup>翟(躍)が変化してヨウ。

耀は、火が赤々と燃えることで、“火がかがやく”という意味です。音は<sup>ヨウ</sup>翟(曜)。栄耀栄華。

耀は、きらきらと“光り輝く”という意味の字です。音は<sup>ヨウ</sup>翟。